

ディスプレイスタンド キャスター付

取扱い・組み立て説明書 LBT5-T875

この度は、当製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
使用前に、この取扱説明書を最後までお読みのうえ正しい使い方
で末永くご愛用ください。この取扱説明書は組み立て後も捨てずに、大
切に保管しておいてください。

品質表示

- 外形寸法（約） 幅87.5×奥行68×高さ149～165.5(cm)
- 構造部材 フレーム、棚板：金属(スチール)
キャスター：ポリプロピレン、ポリウレタン
- 表面加工 フレーム：エポキシ樹脂塗装

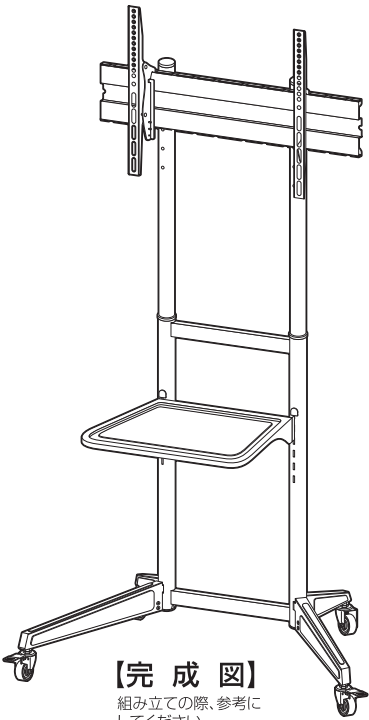
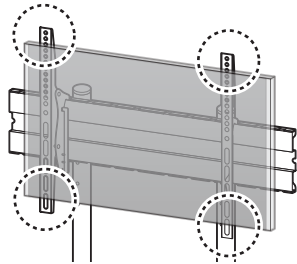
MADE IN CHINA

【対応インチ数】…37～70インチ

【対応VESA規格】

100×100mm、200×100mm、200×200mm、300×200mm、
400×200mm、300×300mm、400×300mm、400×400mm、
600×400mm

上記のVESA規格に対応して
いれば対応インチ数を下回る
サイズのディスプレイでも取
り付けられますが、ブラケット
が上下からはみ出る場合があ
ります。

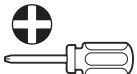


【完成図】

組み立ての際、参考に
してください。

- 高温多湿でない室内で床が水平な壁面に設置してください。
- 過度に重いものを載せないようご注意ください。
- ディスプレイを取り付けた状態での移動や高さ・角度調節はコードの長さ・周囲の状況に
十分ご注意ください。周りのものにぶつかったりコード類が引っ張られて落下や転倒、
ケガをする恐れがあります。
- 以下の耐荷重の範囲内でご使用ください。
ディスプレイ積載部 50kg 棚 5kg 全体 55kg

プラスドライバーを
ご用意ください。



部品明細

■組み立てる前に部品が揃っている事を御確認ください。

(A)支柱フレーム ※可動板の差し込み 穴が付いている方が 前側になります。	(B)左脚部(長) 1 (C)右脚部(長) 1 (D)脚部(短) 2
--	--

LBT5-T875

部品明細

■組み立てる前に部品が揃っている事を御確認ください。

(E)キャスター(ストッパー付) 2	(F)キャスター(ストッパー無) 2	(G)ディスプレイ固定プレート 1	
(H)左ブラケット 1		(I)右ブラケット 1	
(J)可動板 1		(K)コード穴カバー 6	(L)キャップ 2
(M)六角ボルト(太) Φ10×35mm 2	(N)六角ボルト(細) Φ6×35mm 6	(O)六角ボルト(長) Φ8×60mm 4	(P)ワッシャー D8 4
(Q)スパナ 1	(R)六角レンチ(細) 5mm 1	(S)六角レンチ(太) 8mm 1	

ディスプレイ固定用部品

【M-A】プラスボルト Φ6×14mm 4	【M-B】プラスボルト Φ8×16mm 4	【M-C】プラスボルト Φ6×30mm 4	【M-D】プラスボルト Φ8×35mm 4	【M-E】ワッシャー(大) D8 4	
【M-F】スペーサー(小) Φ15×Φ8×5mm 4	【M-G】スペーサー(大) Φ15×Φ8×15mm 4	【M-H】プラスボルト Φ4×14mm 4	【M-I】プラスボルト Φ5×14mm 4	【M-J】プラスボルト Φ8×30mm 4	【M-K】ワッシャー(小) D5 4

組 み 立 て 順 序

■各締め付け箇所は仮止めし、組み立て完成后各箇所をしっかりと締め直してください。
■電動ドライバーはご使用にならないでください。

ボルトの取り付けについて

❗ **ボルトを締める際は、最初からきつく締めないでください。**
他のボルト穴の位置が合わなくなったり、全体がゆがむ原因になります。

- 1

全てのボルトを7割くらいに仮締めする

 仮締め

 本締め

×
- 2

全てのボルトをしっかり本締めする

 本締め

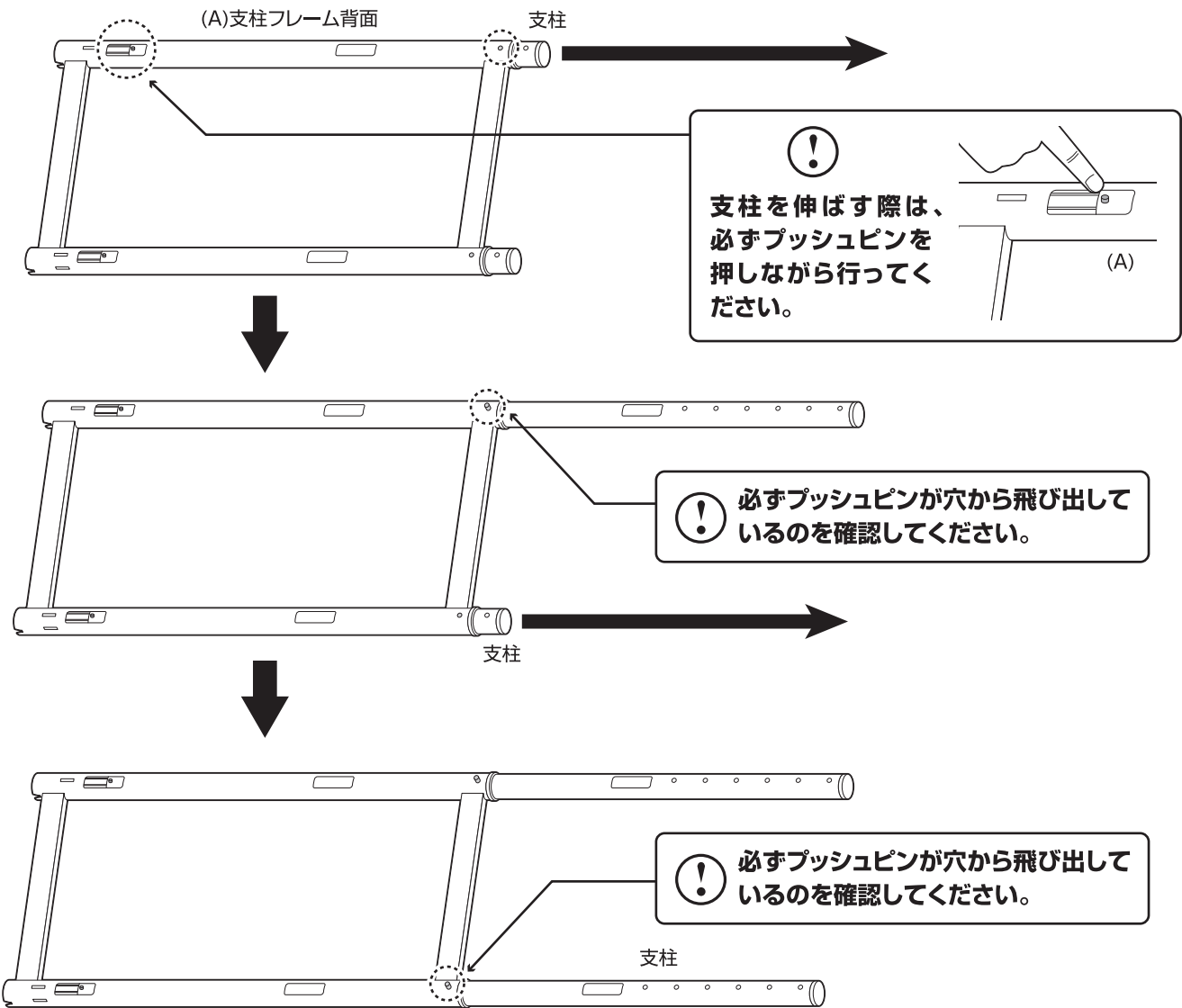
 仮締め

×

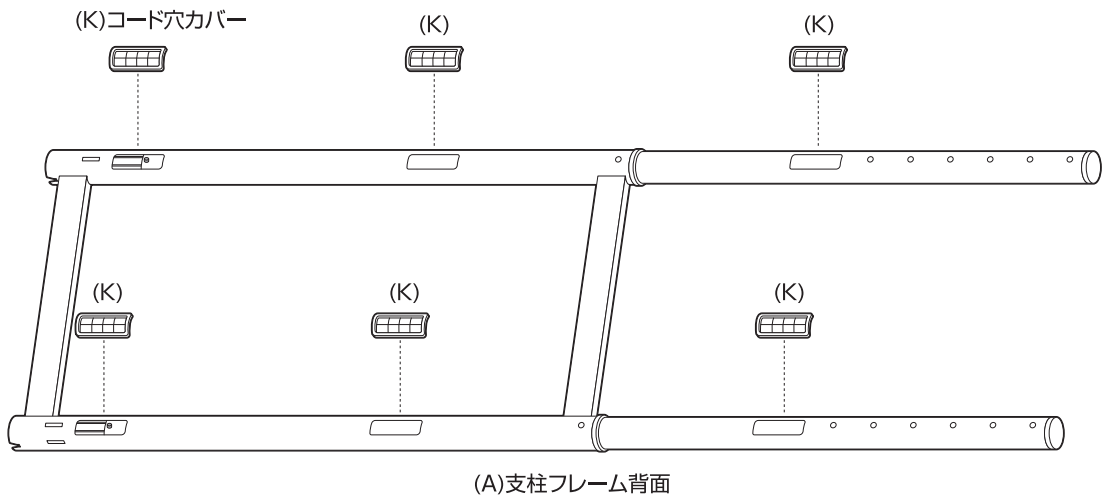
1 支柱フレームから支柱を伸ばします。

プッシュピンを押し込み、支柱を引き出して下図の位置まで移動させてください。

❗ 部材等に傷がつく恐れがありますので、
柔らかい布等を敷いてください。

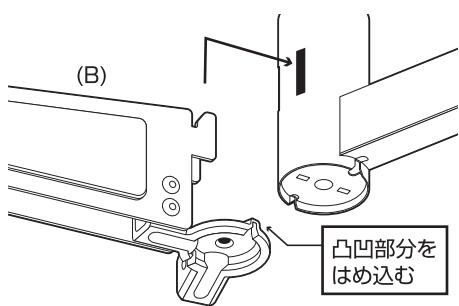


2 支柱フレーム背面にコート穴カバーを取り付けます。

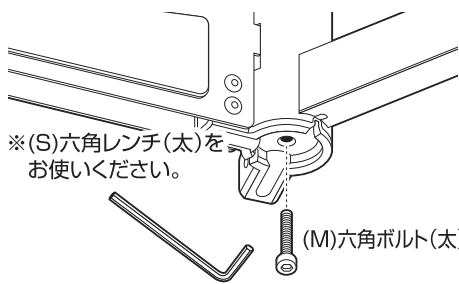


3 支柱フレームに脚部(長)を取り付けます。

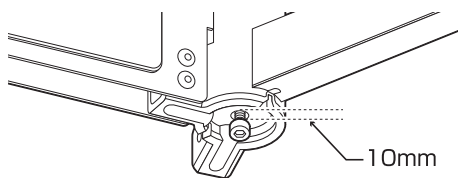
①脚部のフックを支柱の穴に引っ掛けます。



②六角ボルト(太)である程度締めます。



③ボルトを最後まで締めず、10mm程度空けておきます。



(A)支柱フレーム前面

❗ 可動板の差し込み穴が付いている方が前側になります。

(B)左脚部(長)

(C)右脚部(長)

組 み 立 て 順 序

■各締め付け箇所は仮止めし、組み立て完成后各箇所をしっかりと締め直してください。
■電動ドライバーはご使用にならないでください。

4 支柱フレームに脚部(短)を取り付けます。

①脚部のフックを支柱の穴に引っ掛けます。

②六角ボルト(細)で締めて固定します。

③六角ボルト(太)を締めて固定します。

上から見た図

後

全てのボルトを7割くらいに仮締めする → 全てのボルトをしっかり本締めする

6 組み立てた本体にディスプレイ固定プレートを取り付けます。

※(R)六角レンチ(細)をお使いください。

後

組み立てた本体背面

取り付けるディスプレイの高さを4段階で設定できます。お好みの高さに応じた支柱のボルト穴に取り付けてください。

A	B	C	D
●	●	●	●
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○

全てのボルトを7割くらいに仮締めする → 全てのボルトをしっかり本締めする

5 組み立てた本体にキャスターを取り付けます。

必ずストッパー付を前側に揃えて取り付けてください。

※(Q)スパナをお使いください。

前

後

キャスターの調整方法

キャスターにがたつきがある場合は、上下のナットを回して調整できます。浮いてしまっているキャスターの下側のナットを緩めるとキャスターが下に伸びます。その後、上のナットをきつく締めてください。

下のナット (E) (Q)

上のナット

ナットとナットの間隔を調整することで、キャスターの高さを調節できます。

7 組み立てた本体に可動棚を取り付けます。

①可動棚のフックを支柱の穴に引っ掛けます。

②可動棚を取り付けた穴に上からキャップを取り付けます。

前

後

組み立てた本体

可動棚の取り付け位置は5段階の設定が可能です。

組み立て順序

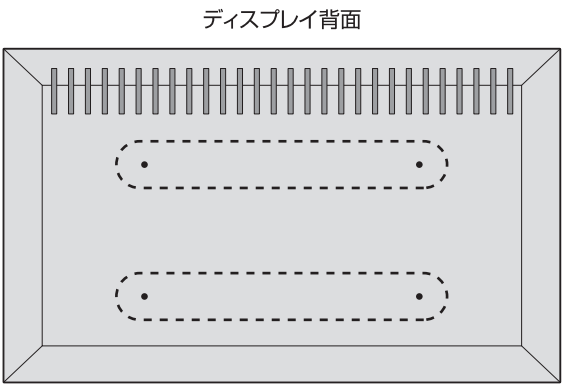
■各締め付け箇所は仮止めし、組み立て完成后各箇所をしっかり締め直してください。
■電動ドライバーはご使用にならないでください。

8 お手持ちのディスプレイにブラケットを取り付けます。

①ディスプレイ本体背面のボルト差し込み穴の穴径を確認し、使用するボルトを選びます。

！ 使用するボルトのサイズは、必ずディスプレイ本体の取扱説明書を参照してください。

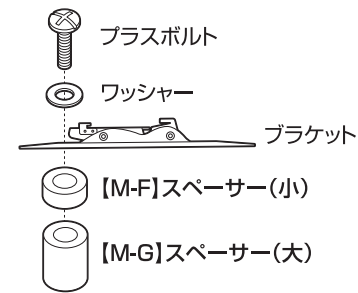
！ 取付に適したボルトの規格および長さはディスプレイによって異なります。必ず適切なボルトの長さをディスプレイの取扱説明書や、メーカーへのお問い合わせ等でご確認ください。



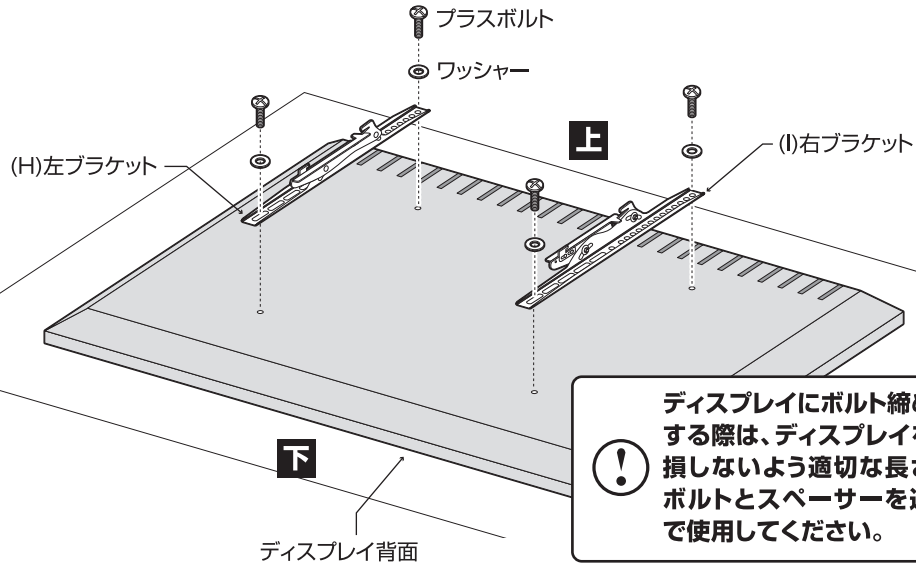
②使用するボルトによって対応するワッシャーが異なります。

使用ボルト	[M-H] M4×14	[M-I] M5×14	[M-A] M6×14	[M-B] M8×16	[M-C] M6×30	[M-D] M8×35	[M-J] M8×30
ワッシャー	[M-K] (小)		[M-E] (大)				

ディスプレイ背面の突起にブラケットが干渉する場合は各種スペーサーを使用してください。



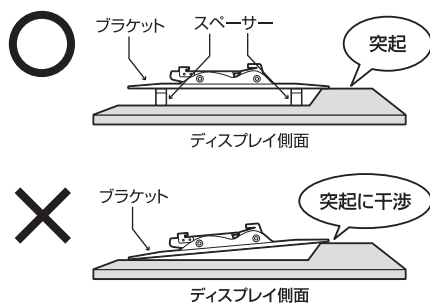
※長さが足りない場合はスペーサー(小)とスペーサー(大)を重ねて使用してください。



！ ディスプレイにボルト締めをする際は、ディスプレイを破損しないよう適切な長さのボルトとスペーサーを選んで使用してください。

③ディスプレイ背面の突起とブラケットが干渉しないように取り付けます。

●干渉する場合は、スペーサー(大)および(小)を使用して調整してください。



フラットな場合	小さく干渉する場合	大きく干渉する場合
②で選定したディスプレイ固定用ボルト ワッシャー ブラケット	②で選定したディスプレイ固定用ボルト ワッシャー [M-F]スペーサー(小) ブラケット	②で選定したディスプレイ固定用ボルト ワッシャー [M-F]スペーサー(小) [M-G]スペーサー(大) ブラケット

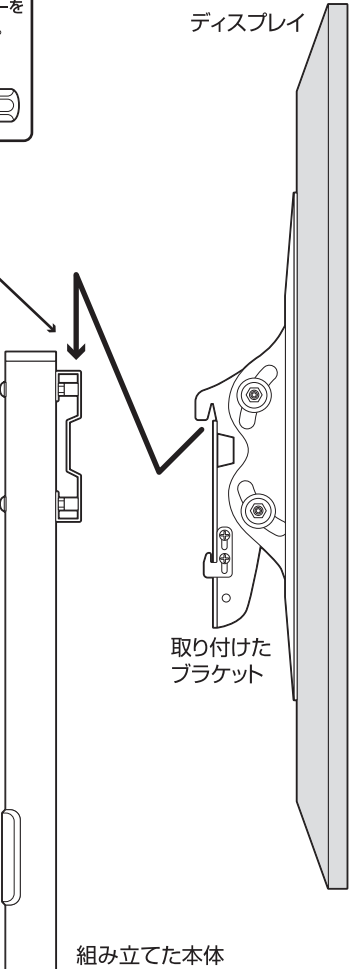
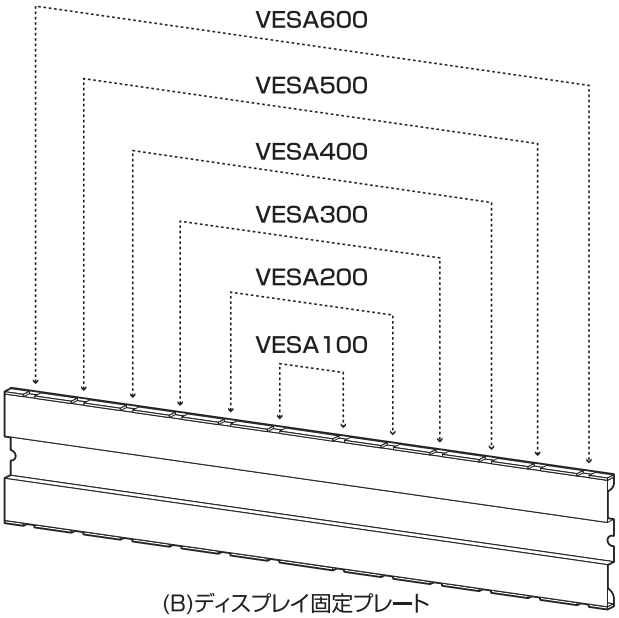
！ ●床に毛布などを敷き、ディスプレイへの傷や破損に十分ご注意ください。●ディスプレイに付属しているスタンド類は取り外してください。●スタンド類の取り外し方はディスプレイの取扱説明書をご参照ください。●付属のボルトの規格がディスプレイと合わない場合は強度に十分注意の上、市販の適切なサイズのボルトをご用意ください。

9 組み立てた本体にディスプレイを取り付けます。

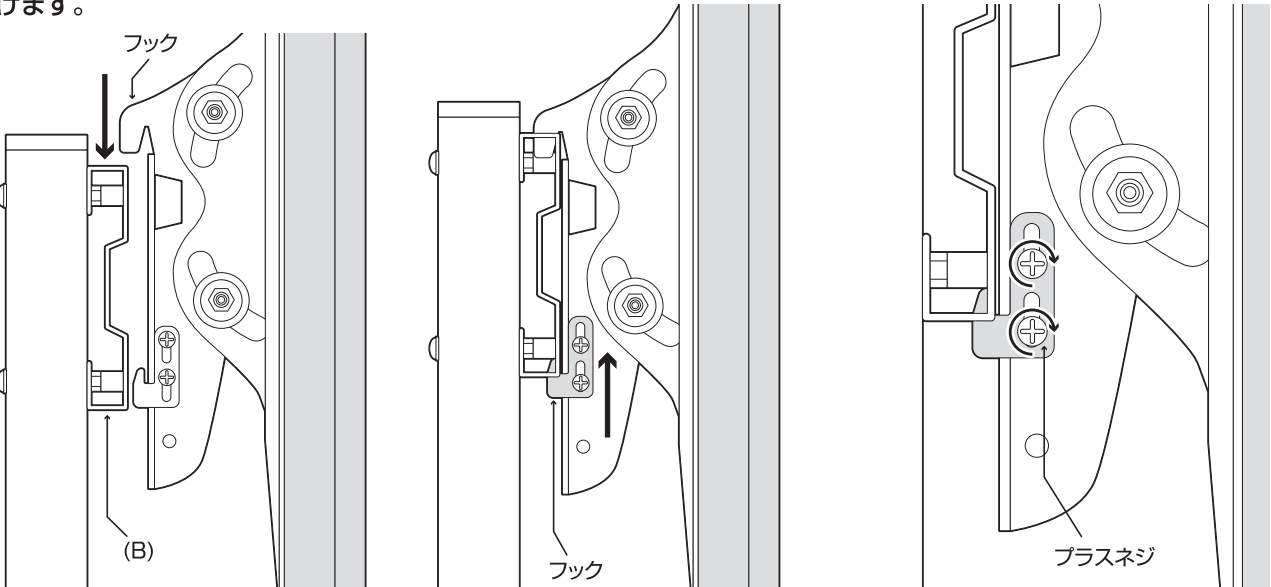
！ 必ず **2人以上** で取り付けを行ってください。



以下のサイズのVESA規格に対応していますので、ディスプレイを取り付ける際の参考にしてください。



- ①ブラケットの上に付いているフックを、ディスプレイ固定プレートにある対応サイズの穴に引っ掛けます。
- ②ブラケットの下に付いているフックを、上方向に押し上げます。
- ③フックのプラスネジを締めて固定して完了です。



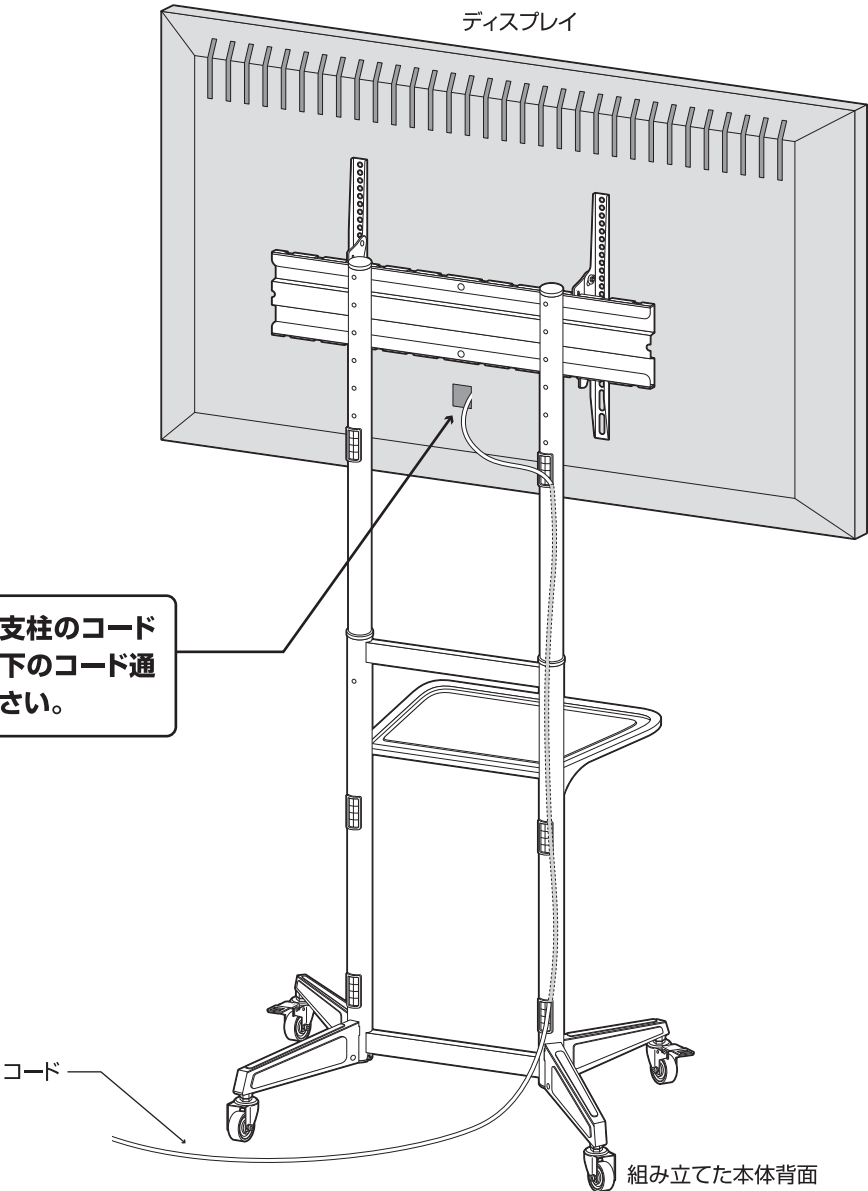
！ 必ずプラスボルトをしっかり締め付け、ブラケットが固定されていることを確認してください。落下・転倒してケガや破損の原因になります。

組 み 立 て 順 序

■各締め付け箇所は仮止めし、組み立て完成后各箇所をしっかり締め直してください。

10 ディスプレイのコードを本体のコード穴から通します。
最後に、各部にゆるみが無い事を確認して完成です。

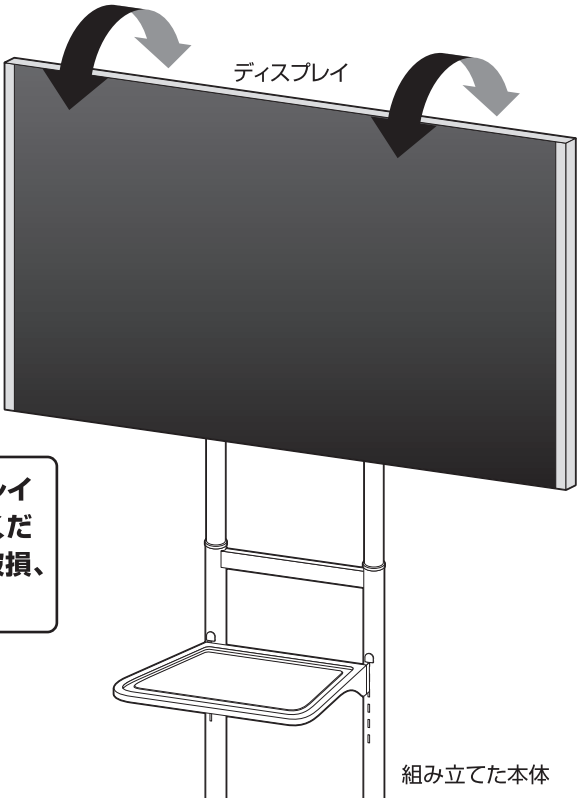
！ ボルトは本締めしてください



！ ディスプレイのコードを支柱のコード穴カバーから通し入れ、下のコード通穴カバーから出してください。

角度調節および高さ調節について

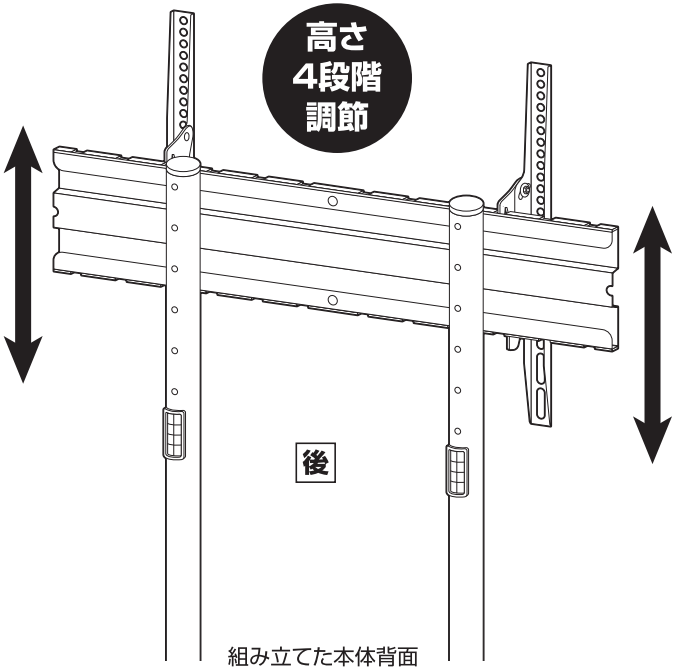
●ディスプレイの上下角度を調節できます。



！ ディスプレイ角度を調節する際は、ディスプレイをしっかり支えてゆっくり慎重におこなってください。意図しない動きをして製品の落下や破損、ケガにつながる危険があります。

●4段階の高さ調節ができます。

- ① ブラケットのプラスネジをゆるめ、フックを押し上げます。
- ② ブラケットごとディスプレイを取り外します。
※必ず2人以上で行ってください。
- ③ ディスプレイ固定プレートを、お好みの高さに再度取り付けます。
- ④ 手順⑩に従ってディスプレイを取り付けて完了です。

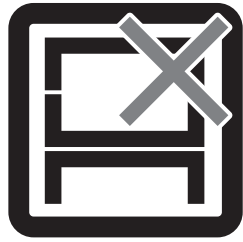


！ ディスプレイと固定プレートを取り外す際や、取り外し後の取扱いには十分ご注意ください。落下などでケガや破損をする恐れがあります。

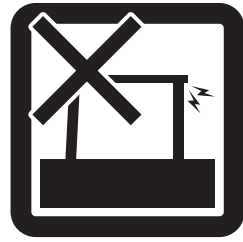


使用時はキャスターのストッパーをすべてかけてください。また、移動の際はストッパーをすべて外し、ゆっくり慎重におこなってください。

危険



本来の用途以外の
使い方はしないでください



異常が生じたまま
使用しないでください

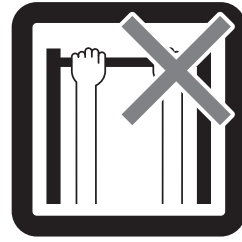
警告



踏み台代わりに
使用しないでください



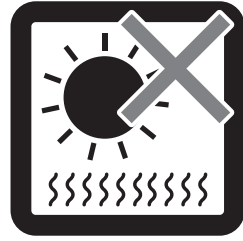
偏った荷重や過度な
荷重は掛けしないでください



製品にぶら下がったり
しないでください



熱い鍋やヤカン等を
置かないでください



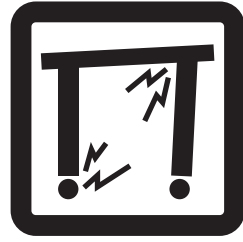
直射日光や高温多湿な
場所に設置しないでください



ストーブ等の火気の
近くには設置しないでください



分解・改造はしないで
ください



製品にぐらつき、異音、ゆるみが生じた
まま使用しないでください。

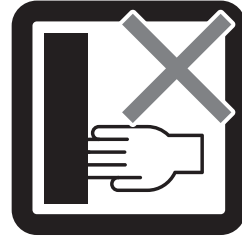
注意



開梱の際は換気に
十分注意してください



各部の組み立てが
きっちりなされている
事をご確認の上で
ご使用ください



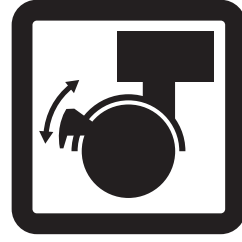
回転部や可動部の
指はさみ等に注意
してください



お子様が乗ったり、
押したり、遊んだり
しないように注意
してください



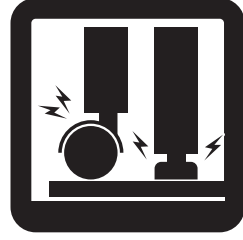
水平な場所に設置
してください



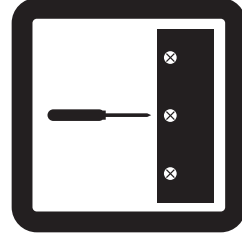
設置の際はキャスター
をロックしてください



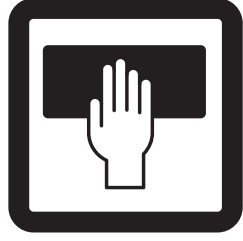
キャスターは定期的に
掃除してください



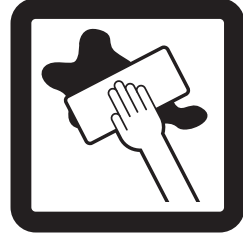
床の材質によっては
接地面が傷いたり、
変色することがあり
ます敷物などで床面
を保護することをお
すすめします。



定期的にボルト・ネジ
類を締め直してくだ
さい



お手入れにはかたく
絞ったタオル等をお
使いください

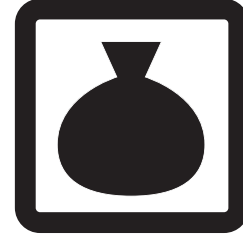


水気のあるものをこ
ぼしたらすぐに拭き
取ってください



ロック機能がある
製品はしっかりと
ロックしてください

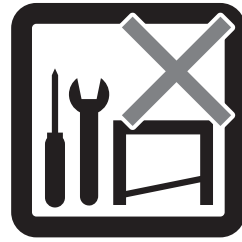
注意



廃棄する際は居住
地域の処理法に従
ってください



本組立説明書を
許可無く転載す
ることは禁止し
ております



お客様のお取扱
いの不注意によ
る破損等の補償
はいたしかねま
す

取扱い・組立説明書は大切に保管してください

この度は、弊社商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

1. 製品購入後すみやかに、部品・部材を確認してください。不足及び不具合があった場合は、部品・部材の発送、不具合品の交換対応させていただきます。

2. 以下に該当する場合には、1の適用はできませんので予めご了承ください。

- (1)取扱い・組み立て説明書、製品ラベルなどの記載に反するお取り扱いによる故障または損傷。
- (2)ご購入後の設置場所の移動やご使用中における落下・衝撃などに起因する故障または損傷。
- (3)保管上の不備及び手入れの不備による故障または損傷。
- (4)ご使用上の誤りあるいは不当な改造や修理に起因する故障または損傷。
- (5)ご使用の経年による消耗品の損傷。
- (6)火災・地震・落雷その他天変地異あるいは外部要因の異常に起因する故障または損傷。
- (7)オークションなどの個人間売買を含む中古販売による製品。

当製品につきまして
ご不明な点がございましたら
右記までご連絡ください。

消費者窓口 フリーダイヤル



0120-069-060

■AM9:00～PM5:30 土・日・祝除く
発売元：株式会社 山善 家庭機器事業部

※故障及びお問い合わせは、お買い求められました販売店までお申し付けください。

※商品の仕様は予告なく変更する事があります。